

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和4年1月20日(木)
午後1時30分から午後2時32分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 14名
- 5 欠席議員 梅村均
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

(1) 各常任委員会の政策提言に向けた進捗状況について

片岡議員(総務・産業建設常任委員会委員長): 3月定例会での委員会代表質問に向けて協議会を開催している。テーマの候補は3つで、今後、各テーマの内容を担当課にヒアリングし、2月上旬に磐田市とオンライン視察を実施予定。2月中旬までには代表質問の要旨をまとめたい。この後も協議会を開いてヒアリングを行う予定。

大野議員(厚生・文教常任委員会委員長): 12月に協議会を開催し、担当課長からヒアリングを行った。来週、再来週中に協議会を開催して、委員会代表質問は行わないが、合意を得たものについて政策提言していきたい。

(2) その他

特になし。

9 協議事項

(1) 議会報告会の開催について

鬼頭会長: 議会報告会はホームページでの意見募集となり、市議会だよりの表紙にお知らせを掲載する。スケジュールは、2月16日の全員協議会で提出予定の議案の説明を受け、財務常任委員会の正副委員長で掲載する事業を抽出する。18日からホームページで掲載していく。その後約2週間意見募集期間を設ける。3月7日以降に集まった意見を議員に配付する。3月14日から開催される財務常任委員会で質疑に反映。去年は私のほうからピックアップして質問した。今年も同様の方法になるかと思う。議会だより以外にも、ほっと情報メール、公式LINE等で周知したい。

(2) 市議会サポーターとの意見交換会について

鬼頭会長: 今日決めていると遅くなってしまうので、議会運営委員会で中止と判断した。前回の意見交換会で出た質問事項についての回答を作成し

たので、目を通していただいて意見があれば。スマート I C 整備費については、木村議員の一般質問の内容をまとめた。桜通線の看板や電柱の地中化について、さくらの家の入浴施設については、執行機関に聞いて回答を作成した。YouTube に関することは議会広報委員長に作成してもらった。意見交換会は出来ないが、サポーターにはこれを送付する。

(3) 「市議会サポーターの声」の回答について

鬼頭会長：議会運営委員会で回答を作成した。

木村議員：サポーターの役割は議会運営に関することと言っているが、政策的な内容が含まれてきている面がある。サポーターの理解はどうなっているか。意見を言う場があるのは良いが、課題だと思う。

鬼頭会長：意見交換会の中で周知できたらいい。今回はできないので次の機会に、政策提言ではなく議会運営に力を入れてほしいと伝えたい。

大野議員：市民の声を出していただいても同様の答えが出ると思うので、議会ではなく市民の声で出していただくことを提案してほしい。

鬼頭会長：意見交換会で意見を出したいという人も見えたと思うので、中止の案内と併せて、文書でも提出できることを案内した。

(4) 災害伝言ダイヤルを活用した訓練について

鬼頭会長：先延ばしにしていたが、やったほうがいだろうということで、事務局、議員両方がメッセージを入れて聞いていく。毎月 1 日と 15 日に利用可能となっているので、2 月 1 日（火）に行いたいと思っている。録音と聞き取り。午前中にメッセージを入れる。事務局は事務局の電話番号を入れて、メッセージを入れる。議員についても同様に自宅の電話番号を入れてメッセージを入れていただく。午後は午前中に入れたメッセージを聞く。事務局は順番に議員のメッセージを聞く。

須藤議員：議員が録音するのは午前中か。

鬼頭会長：議員も事務局も午前中に録音して、午後からメッセージを聞く。体験しないといざというときに使えないので、年 1 回は練習しておく。

(5) その他

(新型コロナウイルス感染症陽性者発生時の公表のあり方等について)

鬼頭会長：コロナウイルス感染症に感染した際の公表について案を作成した。公表内容を考えていただきたい。今回の感染者発生では、年代、性別、氏名は公表しなかった。ただし、氏名を公表している市議会もあるようだ。

関戸議員：このままでいい。人数が少ないので年代と性別を出すとわかって

しまう。

黒川議員：事案の発生の内容によると思う。国会議員でも行動自粛を求められる中で出かけて感染して暴露されることがあった。行動自粛が求められている中で従わずに好き勝手なことをして感染した、人にうつしたとなると、深刻な事案である。今回の事案について、報道機関に周知したと思うが、問い合わせ等はなかったか。

議会事務局長：中日新聞から氏名は公表しないのかという問い合わせがあった。

黒川議員：これは原則として、事案ごとに判断が必要なこともある。

水野議員：感染後の対応ということで、何月何日まで自宅待機だとか入院というのは必要ではないか。

鬼頭会長：医師や保健所の判断となるため、この段階での公表は難しいのでは。今後感染者が出た場合、事案に拠るが、通常の行動を取っていて感染してしまった場合には年代と性別については記載しない

片岡議員：傍聴されていた方に対して、お知らせはどのように。

鬼頭会長：傍聴者については、名前と電話番号、住所を記入していただいているのでお知らせはできる。

片岡議員：お知らせはできるが、するのか、しないのか。プレスリリースで済ませるのか、個々に連絡するのか決めたほうがいい。お知らせしたほうがいいと思う。

木村議員：判断するのは保健所なので、決めるのであれば、保健所と確認して決めていくことが必要。

宮川議員：特別扱いする必要はない。傍聴者に記入してもらうのは、議会から発信するためのものか、保健所に情報提供するためのツールとして持つのか。一応出せる状況にしておけばいいと思うが、判断するのは保健所であって、議会独自でやるのはかなり難しい。何を基準にするのか明確にしなければ判断しかねる。

大野議員：なぜ職員は年代と性別を公表するのか。部だけでいいと思うが、課まで記載されているし、誰かわかってしまう。

議会事務局長：公表基準があるわけではなく、近隣の公表の仕方を参考にして今のかたちが出来上がっているのだと思う。

鬼頭会長：案をもう一度確認していただき、ご意見をいただき、決めるなら議運で正式に決めてほしい。

木村議員：公表する範囲については、保健所に判断を求める等の一文を入れておいたほうがいい。

鬼頭会長：もう一度精査する。

堀議員：東京都はもう保健所から濃厚接触者の通知はしないことにしたようだ。過去の行動は本人が一番わかっているので、本人の責任として濃厚接触者に知らせることにしようという方向に切り替えようとしているので、全国的に広がっていくかもしれないということも念頭に置きながら協議する必要がある。

鬼頭会長：議運で決定してもらいたいので、意見があれば会派から議運の場で言ってほしい。

新型コロナウイルスに関するフローチャートだが、濃厚接触者の自宅待機の期間を変更しなければならない。都度、変更される可能性があるので、政府の示す基準に従って自宅待機等の文言にしたほうがいいのではないかと思うがどうか。

(発言する者あり)

鬼頭会長：では訂正する方向で、議運で議論して変えていきたい。

谷平議員：消毒を実施と記載されているが、今回消毒はしたのか

議会事務局長：会派室と事務局に寄ったということだったので、ドアノブやエレベーターの呼出ボタン等を消毒した。

谷平議員：専門業者による消毒作業ではなく、一般的な消毒。

鬼頭会長：今後もそういったかたちでやっていく。議長室のドアノブも現在は事務局が消毒作業をしている。手間が増えるがよろしく。

(議場防災訓練について)

鬼頭会長：議場にヘルメットを設置してはどうかという意見が出ている。大津市議会の議場に折り畳み式ヘルメットが設置してあり、岩倉市議会でも同様にしてはどうかということだが、なにか意見があれば。

大野議員：議員互助会費で購入するという提案である。

片岡議員：傍聴者用のヘルメットをどうするか考えなければならない。議員だけが持っているというのは少し違うと思う。

大野議員：議員の分は自らで用意し、傍聴者用の予算化を目指していく。我々が常備していないのに購入してくださいとは言えないので。

井上副会長：それはヘルメットに関しては逆だと思う。議員からすれば、傍聴に来てくださいといつも呼び掛けているので、傍聴者の生命を守るのが第一だと思う。私たちのものを、たとえ私費の互助会費で買うとしても、それよりも傍聴者は机等、隠れる場所もなく特に危険である。入り口付近に置いておいていざという時に使ってもらおう。私たちは机の下に潜れるが、傍聴者は潜ることもできないので、そちらを優先してほしい。

水野議員：私も揺れたときに議員だけヘルメットをしていて他の人は置いて

けぼりというのはイメージしづらい。傍聴者、市長以下職員がない中で、議員だけが完全防備とは難しい。

谷平議員：議員、傍聴者関係なく、各席に1個ずつ置けばいいのでは。

鬼頭議員：机は記者席だけで、傍聴席に机はない。

大野議員：一期目の議員は大津市議会を視察していない。積立金があるときでないと購入できないので。私費で購入しておけば、予算化も頼みやすくなる。まず議員のほうで、私費で買ってから、傍聴席にお願いしたいと順序立てていかないと、いきなり、議員も持っていないのに、議員も公費で買って下さいという話になってしまうので。これを機にとということで提案した。

片岡議員：今互助会はどれくらい貯まっているのか。傍聴者の分も購入するのは難しいのだろうか。

大野議員：寄附行為にあたるかもしれない。

宮川議員：提案者は、まずは議員が実費で購入せよという話なのだと思うが、姿勢を示すということだが、副会長が言われることも一理あると思う。我々は買いますよということを決めて、行政課とその前提で交渉して、意識と予算化のタイミングをすり合わせて、同時購入すれば副会長の指摘はクリアできると思う。

鬼頭会長：同時購入が望ましいだろう。

片岡議員：買うという意味だけはこの場で確認して、反対はないと思う。あとは当局とのタイミングだけ。

鬼頭会長：いつ買うかはわからないが、購入していくことでいいか。

(発言する者あり)

井上副会長：市から貸与されたヘルメットもあるのに、避難訓練でも使わなかったし、ヘルメットを買わなければいけないのかなという気持ちはある。これまで100回以上避難訓練をやってきたが、小中学校で子ども達は教科書やノートを頭に載せて退避している状況で、議員が私費とはいえ購入する必要があるのかなと。市民の命を守ることを優先してもいいんじゃないかという気持ち。

須藤議員：互助会費を使うとなると、議員でなくなった時に自分のものになるので、また買うのか。

大野議員：大津市議会は折り畳みのコンパクトなもので、すぐできるものを見てきたので、防災訓練の時の大きなものをわざわざ持ってきて、机の下に置いておいて、やっぱり家に持って帰ろうという話になってしまっただけ、それはそれで防災服と場所が違うのはおかしいだろうというので、そういう考えで大津市議会は折り畳みのコンパクトなものを購入していた。わざ

わざ防災服とヘルメットが別の場所に置いてあることはちょっと違うと思うので。

須藤議員：議会で予算を立てるとしても、見積もりが必要だが、新年度予算は10月か11月なので、それまでに少し検討して、その間に反対者の意見が和らげばいいのだが。でも反対者は子どもの命を守るということを言っているから、議会でヘルメットを買うのは違ってくる。

大野議員：そういう意見があるなら一般質問でやってもらったらいい。

鬼頭会長：互助会費で購入するか、議会費として予算化するかは議会運営委員会で決定することになる。今日は皆さんの意見を伺うということだが、購入していくという方向で今後は検討していくということでもいいか。

議会事務局長：8階で災害が起こった時に被りましょうという議論だが、この7階の委員会室も使用頻度は高いのに、8階にだけヘルメットがあることや、また市民は他の会議室での会議にも参加されているので、置くとするならば全庁的な検討が必要だと思う。

鬼頭会長：議会の議論が波及して、執行機関もヘルメットが必要という考えになってもらうといいのかなと思う。

片岡議員：議会から言う必要があると思う。議会は置こうと思っているが、どうか、と話を合わせていくアクションが必要。

鬼頭会長：議会から申入れをしていく方向で検討する。

10 その他

次回 2月16日(木)午後1時30分から